

平成30年5月29日
近畿総合通信局

平成30年度「電波の日・情報通信月間」記念式典を開催

－電波及び情報通信の発展に貢献された個人及び団体を表彰－

近畿総合通信局（局長 安藤 英作（あんどう えいさく））は、近畿情報通信協議会（会長 福井 澄郎（ふくい すみお）関西テレビ放送株式会社 代表取締役社長）と共催して、平成30年度「電波の日・情報通信月間」に当たり、記念式典を開催し、電波及び情報通信分野の発展に貢献した個人及び団体に対して表彰を行います。

- 1 日時
平成30年6月1日（金曜日）午前11時から
- 2 会場
ホテルニューオータニ大阪 2階 「鳳凰の間」
（大阪府中央区城見1-4-1）
- 3 式次第
 - (1) 開会
 - (2) 主催者あいさつ
 - (3) 表彰
「電波の日」近畿総合通信局長表彰（別紙1）
「情報通信月間」近畿総合通信局長表彰（別紙2）
近畿情報通信協議会会長表彰（別紙3）
 - (4) 来賓祝辞
 - (5) 閉会

<電波の日とは>

昭和25年（1950年）6月1日に電波法、放送法及び電波監理委員会設置法が施行され、それまで政府に限られていた電波の利用が広く国民に開放されました。これを記念して6月1日が「電波の日」に定められ、今年で68回目を迎えます。

<情報通信月間とは>

昭和60年（1985年）の情報通信の制度改革を契機に情報通信の普及・振興を図ることを目的として設けられました。毎年5月15日から6月15日までの期間中に各管内で情報通信に関する様々な行事を開催しており、今年で34回目を迎えます。

<近畿情報通信協議会とは>

平成15年（2003年）、情報通信の健全な普及発展と情報通信の利用による国民生活の向上に寄与するとともに、会員相互間の緊密な連絡と親睦を図ることを目的に設立されました。地方自治体、電気通信事業者、放送事業者、有識者など198会員で構成されています。

連絡先：総務部総務課

（担当：中田、魚野）

電 話：06-6942-8510

「電波の日」近畿総合通信局長表彰

団 体

特定非営利活動法人エフエム和歌山 様

(代表：理事長 山口 昭昌 様)

AI 技術を活用するなど一人でも放送番組を制作することが可能なシステムを開発し台風被害発生時に災害情報や被災者支援情報を被災者に提供し、地域住民の安心・安全の確保に多大な貢献をされました。

大阪府富田林警察署 様

(代表：署長 警視 山内 寛 様)

多くの登山者が訪れる金剛山において携帯電話のつながる場所を知らせる標識「コールポイント」を登山道の44カ所に設置し、遭難者の迅速な救助活動につながるなど電波の有効な活用に多大な貢献をされました。

びわ湖放送株式会社 様

(代表：代表取締役社長 東 清信 様)

テレビジョン放送の視聴覚障がい者向け放送番組の制作に積極的に取り組み、全国の独立放送局として初めて本編及びCMへの字幕付与を行うなど情報バリアフリー環境の整備に多大な貢献をされました。

「情報通信月間」近畿総合通信局長表彰

団 体

一般財団法人関西観光本部 様

(代表：理事長 松本 正義 様)

多言語音声自動翻訳技術を活用した電話で誰でも手軽に利用できる「KANSAI SOS 多言語コールセンター」を開設し、訪日外国人対応をサポートすることで言葉の壁を無くし情報通信技術の普及と地域の活性化に多大な貢献をされました。

京都府警察本部生活安全部サイバー犯罪対策課

ネットセキュリティ・サポートセンター 様

(代表：所長(京都府警視) 田中 一成 様)

サイバー犯罪等のネットトラブルの予防・未然防止に資する取り組みを総務省や他団体との連携を含めて積極的に実施し、安心・安全な社会の構築のために多大な貢献をされました。

近畿ブロックPTA協議会 様

(代表：会長 佐々木 一智 様)

スマートフォンやインターネット等の利用に係る問題について子ども達と共に考える機会を創出し毎年「関西スマホサミット」を開催するなどインターネットリテラシー向上に多大な貢献をされました。

一般社団法人ソーシャルメディア研究会 様

(代表：竹内 和雄 様)

兵庫県立大学の学生を中心に子ども達とソーシャルメディアとの関わり方について参加者全員で考える機会を提供し、各地のスマホサミットの開催にも積極的に関与するなど子ども達や社会のニーズに応える活動を推進し青少年のインターネットリテラシー向上に多大な貢献をされました。

姫路市 様

(代表：市長 石見 利勝 様)

マイナンバーカードに搭載されている公的個人認証の利用者証明用電子証明書を活用した図書貸出サービスを導入し、姫路市だけではなく隣接自治体に取り組みを拡大させることで図書館の相互利用を実現しマイナンバーカードの多目的利用を進め住民サービスの向上に多大な貢献をされました。

近畿情報通信協議会会長表彰

個人

小南 英司 様

(朝日放送テレビ株式会社 技術局 開発部)

放送・情報通信技術に関する幅広い知見を生かしサーバー運用技術と負荷分散技術を活用した「視聴者アンケートシステム」を開発するとともに、データ放送のコンテンツ制作・送出システムを開発するなど放送通信連携サービスの普及に多大な貢献をされました。

団体

京都府立海洋高等学校 様

(代表：校長 矢野 誓作 様)

放課後の時間を活用し第二級海上特殊無線技士の資格取得のための指導を行うとともに国家試験の会場を提供するなど無線従事者の養成に取り組み、地域における海上・漁業無線を担う人材確保に多大な貢献をされました。

和歌山県情報化推進協議会 様

(代表：会長 中川 優 様)

臨時災害放送局を想定した実験試験局を開設し、エリア調査や防災訓練を実施するなど防災・減災の意識向上を図ることで地域における大規模災害に備えた体制の整備に多大な貢献をされました。